

災害時リスク・アセスメントシート(松江市版)について

令和4年3月1日

1. 作成の経緯

令和3年4月の介護保険介護報酬改定の中で「3年以内に災害時の業務継続計画(BCP)作成の義務付け」がされ、各事業所が作成に取り組む中で「何から取り組めばよいのか」と声があがった。

また令和3年7月には松江市でも豪雨災害があり、「災害時のケアマネジメント」について、どうすれば一步を踏み出せるかを、松江地域介護支援専門員協会、松江市地域包括支援センター、松江市在宅医療・介護連携支援センターで協議した。

日本介護支援専門員協会が作成された「災害時リスク・アセスメントシート」を用い、実際に役員で取組み、意見を集めたところ、利用者ひとりひとりの災害アセスメントをすすめていく中で「何がわかっている」「何が不明か」「どこにつながればよいか」など頭の整理をすることが必要であることがわかった。

そこで、松江市内の介護支援専門員ひとりひとりが同じ目線で利用者の「災害時リスクアセスメント」ができるよう、松江市版の共通シートを作成することとした。

2. 目的

- ①平常時に個々の利用者の災害時のリスクを予測できることで、利用者の命や生活を守る事に繋がる。
- ②シートを使用し、聞きとりを行うことで、利用者・家族にも災害時の対応について考えるきっかけづくりにしてもらおう。
- ③事業所のBCPを作成する中で、利用者の安否確認の優先順位を判断する上で利用するシートとする。
- ④不足している情報、明らかとなった課題を、ケアチームで共有し、平常時に解決できるものは解決を図る。

3. シート使用上の注意

- ①「項目を埋めること」が目的ではなく、「不足している情報、明らかとなった課題」の把握が目的。
強制されるものではない。
- ②シートをどう使うかは、介護支援専門員自身で考える。(利用者と共に共有、サービス担当者会議で使用、地域の方との会議で使用等)※個人情報の扱いについては利用者の許可を得る。

4. シートの今後

- ・「災害時個別避難計画」の書式については、松江市で検討されており、決まり次第周知される予定。
- ・シートは現段階のものであり、今後も皆様のご意見をおききしながら改訂していく予定

* 参考: 日本介護支援専門員協会発行「災害対応マニュアル 第5版」